

- (1) 目標 多角形を三角形に分割すればその面積が求められることに気づき、説明している。(思考・判断・表現)
 (2) 展開

- (1) 目標 縮図を利用した2点間の距離の求め方を理解することができる。(知識・技能)
 (2) 展開

指導上の留意事項 (○)	学習活動 (◇児童の反応)	時間・過程	直間	時間・過程	学習活動	指導上の留意事項
<p>○これまでの学習を想起する。(教科書を使用しても可) ○具体的な学びを一人一人が説明できるように声をかける。</p> <p>【問題】 次のような㊸、㊹の図形の面積を求めてみましょう。</p> <p>○前時と本時の学習の違いを明確にする。</p> <p>(「問い」を生み出す手立て等) ○辺の長さや角の大きさがばらばらな四角形と五角形は、これまでの学習で出てきた公式がこのままでは使えないことに気づかせる。 ○分け方が考えつかない場合は三角形で分けられないかと声かけして、どこに対角線を引くとよいのかを予想させてめあてにつなげる。(㊸で実際に確かめる)</p> <p>(見方・考え方を働かせて課題解決に向かう方向付け) ○対角線でこれまで学習してきた形(三角形)でわけると公式を使って面積を求められることに気づかせる。</p> <p>【めあて】 三角形の面積の公式を使って、多角形の面積の求め方を考えよう。</p>	<p>1 これまでの学習を想起し、本時の問題を確認する。 ◇三角形や平行四辺形などの図形の面積を求め勉強してきたね。</p> <p>◇前時との違いは、それぞれの辺の長さや角の大きさがばらばらな四角形と五角形の面積を求めることです。</p> <p>2 めあてをつかむ。 (1) これまでの面積を求めてきた形で使えそうな形がないかを話し合う。 ◇対角線で三角形にわけられる。 ◇底辺と高さがわかるように対角線を引いて面積を求められる。</p>	<p>つかむ 5分</p>	<p>■ □ ■ □ ■ □ □ □ □ □ □ □ □ □</p>	<p>つかむ 5分</p>	<p>1 これまでの学習を想起し、本時の問題を確認する。 ◇拡大図や縮図の関係を勉強しました。 ◇拡大図や縮図のかき方を学びました。</p> <p>【問題】 右の $\frac{1}{10000}$ の地図を使って、次の実際の直線距離を求めてみましょう。</p> <p>㊸ 博多小学校から櫛田神社まで ㊹ 千代小学校から櫛田神社まで</p> <p>◇前時との違いは、「縮図をかく」ではなく、「縮図から実際のきよりを求める」ことです。</p> <p>2 めあてをつかむ。 (1) 「実際の直線きよりを求める」とはどういうことなのかをグループで共有する。 ◇縮図はもとの長さを縮めた長さだから、縮まった長さではなく、そのもとの長さを実際に求めることです。 ◇教科書で測った長さが $\frac{1}{10000}$ になっているからもともどせばいい。</p> <p>(2) どのようにすれば実際の直線きよりを調べられるのかを話し合う ◇縮図と縮尺を利用すれば計算で求められる。</p> <p>【めあて】 縮図を利用して実際の直線きよりを求めよう。</p>	<p>○前時と本時の学習の違いを明確にする。</p> <p>(「問い」を生み出す手立て等) ○実際にきよりを測る方法はあるがこれまでの学習から計算で求められる方法はないのかを問う。 ○ $\frac{1}{10000}$ 縮尺の意味を再度確認させる。</p> <p>(見方・考え方を働かせて課題解決に向かう方向付け) ○縮図の意味(実際の長さを縮めてあること)を確認し、計算で求められることに気づかせる。</p>
<p>(課題解決に向けた見通しを持つ手立て) ○グループを作って共同解決ができるようにする。</p> <p>○ノートへのまとめ方を、順序がわかりやすいように言葉や式を入れながらまとめるようにして、相手意識をもたせる。</p> <p>○グループで話し合いながら問題を解決する。</p> <p>○タブレットを使用しながら、対角線と底辺がどこになるのかを予想させながら解決できるようにする。</p>	<p>3 問題㊸㊹に取り組む。 (1) ㊸の面積を求めましょう。(個別・グループ) (2) グループで確かめ合う。 ◇辺BDに対角線を引いて三角形に分ける。 ◇それぞれの三角形の面積を求めてたす。 (3) ㊹の面積を求めましょう。(個別・グループ)</p>	<p>さぐる 10分</p>	<p>■ □ ■ □ ■ □ □ □ □ □ □ □ □ □</p>	<p>さぐる 10分</p>	<p>3 課題の解決に向けて活動する。 (1) ㊸について実際の直線きよりを求める。(個別・グループ) (2) グループで確かめ合う。 (3) 求め方を全体で共有する。 ◇まず、教科書の2点間の直線距離を測り、その数を10000倍にする。 ◇わかりやすい単位に直すといよい。 (4) ㊹について実際の直線きよりを求める。(個別・グループ)</p>	<p>(課題解決に向けた見通しを持つ手立て) ○グループを作って共同解決ができるようにする。</p> <p>○ノートへのまとめ方を、順序がわかりやすいように言葉や式を入れながらまとめるようにして、相手意識をもたせる。</p> <p>○ノートへまとめたものを、タブレットで撮影し、テレビに映し出しながら説明をし合うようにする。</p> <p>○グループで話し合いながら問題を解決する。</p>
<p>○方眼がなくても、底辺になる対角線に垂直に交わる高さを見つけて公式を使うといいことを確認する。</p> <p>【具体的評価規準】【思判表】(発言・記述) ○多角形を三角形に分割すればその面積が求められることに気づき、説明している。</p> <p>【到達していない児童への手立て】 ○グループで学習することで、いつでも相談できるようにする。 ○タブレットを使用しながら、対角線と底辺がどこになるのかを予想させながら解決できるようにする。</p>	<p>4 PI45の△に取り組む。 (1) △に取り組む。(個別) (2) 考えを交流して、答えと求め方を確かめる。 ◇2つの三角形の面積を、公式をつかって求め、たすといよい。 ◇高さがどこになるのかを気をつけて面積を求めよう。 (3) PI45の△に取り組む。(個別) (4) 考えを交流して、答えと求め方を確かめる。</p> <p>【期待される学びの姿】 対角線を引いて三角形に分けながら四角形の面積を求めることができることに気づき、説明している姿</p>	<p>ふかめる 15分</p>	<p>■ □ ■ □ ■ □ ■ □ □ □ □ □ □ □</p>	<p>ふかめる 15分</p>	<p>4 目的に応じて課題の解決に向けて学習する。 (1) △の問題を求め。(個別) (2) グループで確認する。</p> <p>【期待される学びの姿】 実際の直線きよりを求めるために縮図を書いて、それをもとに必要な2点間の長さを測りながら実際のきよりを求めている姿。</p> <p>【具体的評価規準】【知・技】 ○縮図を利用して2点間の距離を求めている。(観察・ノート)</p> <p>【到達していない児童への手立て】 ○グループで学習することで、いつでも相談できるようにする。</p>	
<p>○めあてと照らして行い、解決の方法や学習内容のまとめをする。</p> <p>【まとめ】 多角形の面積は、対角線でいくつかの三角形に分けて求めることができる。</p> <p>○多角形であれば、三角形に分けて面積が求められることに気づかせる。</p>	<p>5 本時のまとめをする。</p> <p>6 ジャンプの問題に取り組む。(個別・グループ) 7 本時の学びをふりかえる。</p>	<p>まとめる ふりかえる 15分</p>	<p>■ □ ■ □ ■ □ ■ □ □ □ □ □ □ □</p>	<p>まとめる ふりかえる 15分</p>	<p>5 本時のまとめをする。</p> <p>【まとめ】 実際のきよりを求めるためには、縮図の縮尺をもとにして計算するとよい。</p> <p>6 ジャンプの問題に取り組む。(個別・グループ) 7 本時の学びをふりかえる。</p>	<p>○めあてと照らし合わせながら解決の方法や学習内容のまとめをする。</p>